

製造アウトソーシングの、  
新たな世界基準を。



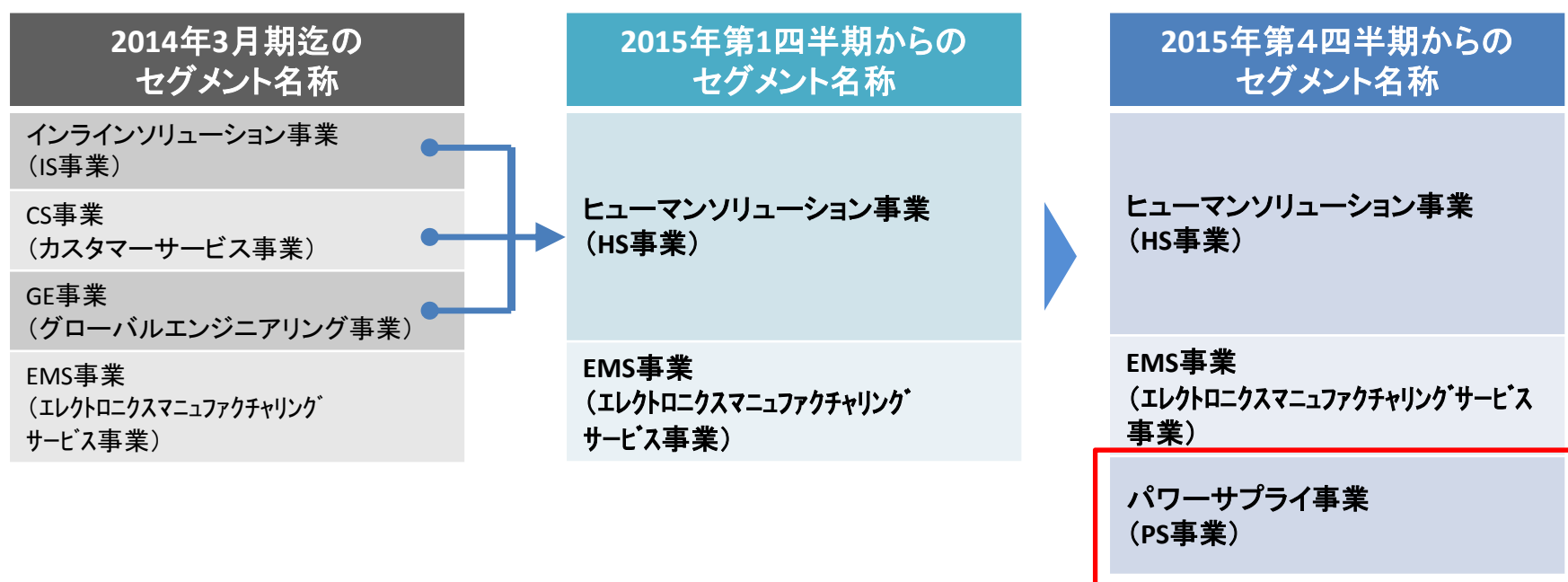
# 2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年11月27日



# セグメント名称について

従来、IS事業（インラインソリューション事業／製造請負・派遣）、CS事業（カスタマーサービス事業／修理・カスタマーサービス）、GE事業（グローバルエンジニアリング事業／技術者派遣）と表記しておりました  
2015年3月期より、それらを総称してヒューマンソリューション事業とすることといたします。EMS事業の名称については変更はございません。なお、第4四半期からは新たにPS事業が加わることとなります



パナソニックからの事業譲受は  
10月1日のため、PS事業は  
第4四半期連結業績より反映予定

- ◆ 2015年3月期 第2四半期 連結業績ハイライト P4
- ◆ 2015年3月期 通期連結業績予想 P15
- ◆ 今後の取り組みについて P22
- ◆ nmsグループの中長期戦略 P39

**<参考資料>**

会社概要

P41

\* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、有価証券報告書と一致しない場合があります。



## 2015年3月期 第2四半期 業績ハイライト

## 市場環境

製造業は国内生産拠点の縮退と海外への生産拠点移転を推進。国内の雇用情勢の好転により、製造業での雇用確保が困難。中国では「労務派遣暫定規定」により派遣労働者数の規制が入り、中国の日系製造業に影響を及ぼす可能性あり。China+1の動きも活発化。

## 業績

**売上高**                    **23,787百万円**  
(前年同期比+14.2%)

**営業利益**                **237百万円**  
(前年同期比+583百万円)

**四半期純利益**        **83百万円**  
(前年同期比+280百万円)

# 業績ハイライト(P/L)

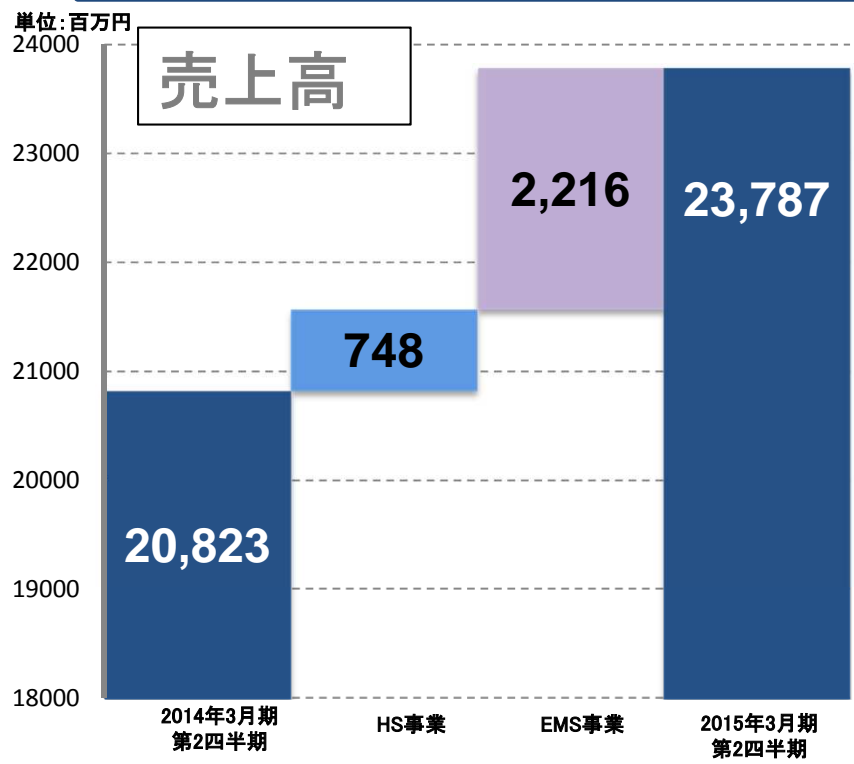
項目/決算別 (単位:百万円)	第1四半期	第2四半期	第2四半期(累計)				前年同期 (累計)	前年同期比 増減率
	実績	実績	当初予想 (5/15公表値)	実績	差異	達成率		
売上高	11,630	12,157	24,000	23,787	▲213	99.1%	20,823	+14.2%
売上総利益	1,281	1,347	2,705	2,628	▲77	97.2%	1,776	+48.0%
(売上総利益率)	11.0%	11.1%	11.3%	11.0%	▲0.2%	-	8.5%	-
販売管理費	1,194	1,197	2,575	2,391	▲184	92.9%	2,121	+12.7%
(販売管理费率)	10.3%	9.8%	10.7%	10.1%	▲0.7%	-	10.2%	-
営業利益	86	151	130	237	107	182.3%	▲346	-
(営業利益率)	0.7%	1.2%	0.5%	1.0%	0.5%	-	-	-
経常利益	30	117	115	147	32	127.8%	▲68	-
(経常利益率)	0.3%	1.0%	0.5%	0.6%	0.1%	-	-	-
四半期純利益	4	79	45	83	38	184.4%	▲197	-
(四半期純利益率)	0.03%	0.65%	0.2%	0.3%	0.2%	-	-	-

\* 当社は10月20日に業績予想の修正のお知らせを開示しています

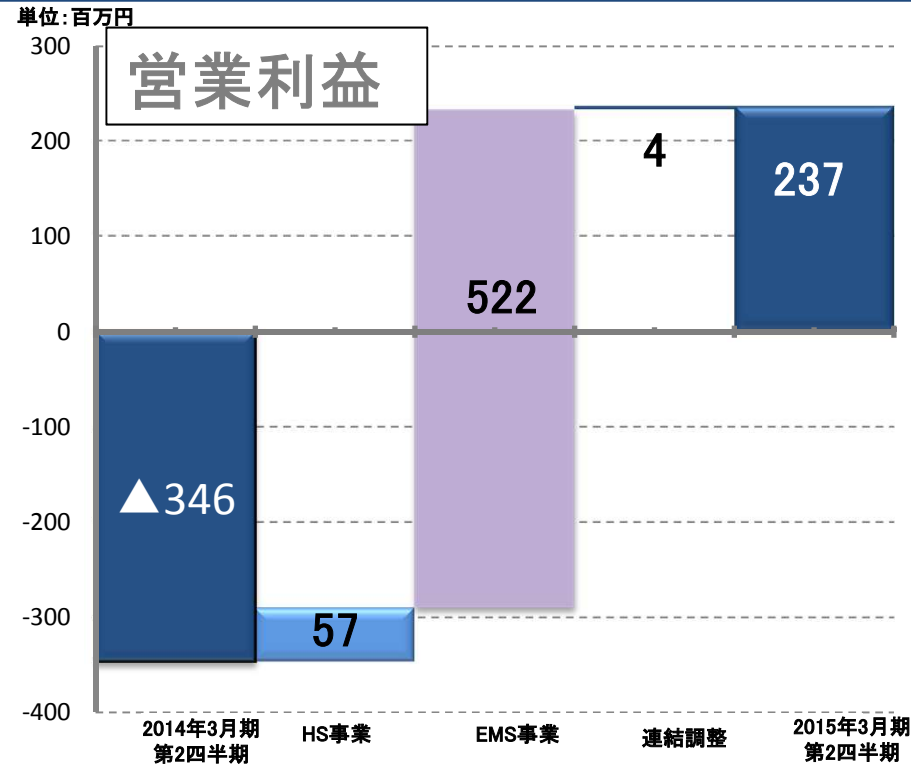
営業利益が当初予想(5月15日公表)より大幅に上回る

# セグメント別業績 前年同期比較

**売上高は対前年同期比 +14%増  
営業利益はEMS事業が大幅に黒字化**



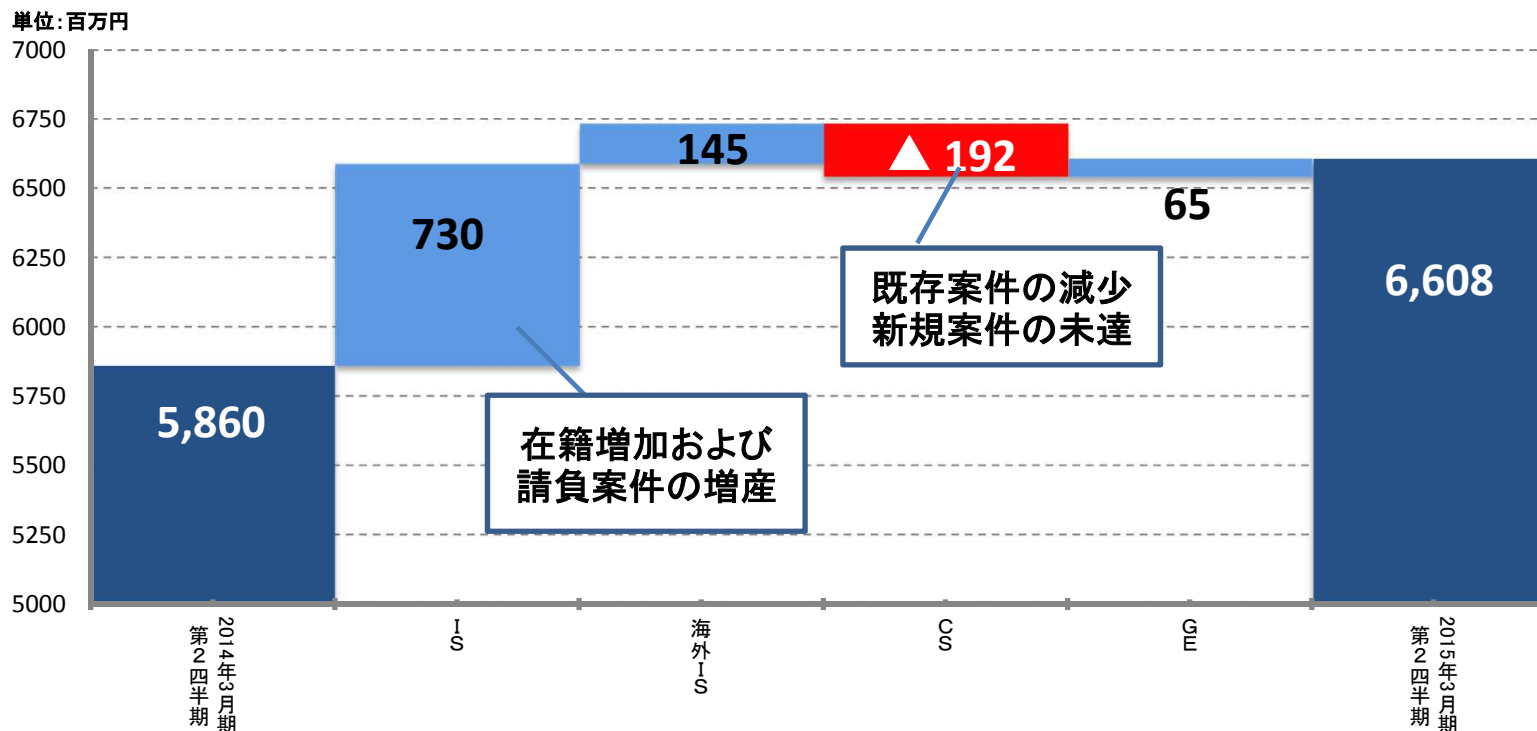
売上高 単位(百万円)	HS事業	EMS事業	合計
2015年3月期 第2四半期	6,608	17,179	23,787
2014年3月期 第2四半期	5,860	14,963	20,823
増減	748	2,216	2,964



営業利益 単位(百万円)	HS事業	EMS事業	連結調整	合計
2015年3月期 第2四半期	▲ 17	250	4	237
2014年3月期 第2四半期	▲ 74	▲ 272	0	▲ 346
増減	57	522	4	583

# HS事業概況 売上高前年同期比較

売上高は前年同期と比較し、+13%増  
CS事業のみ対前年同期で売上高減少

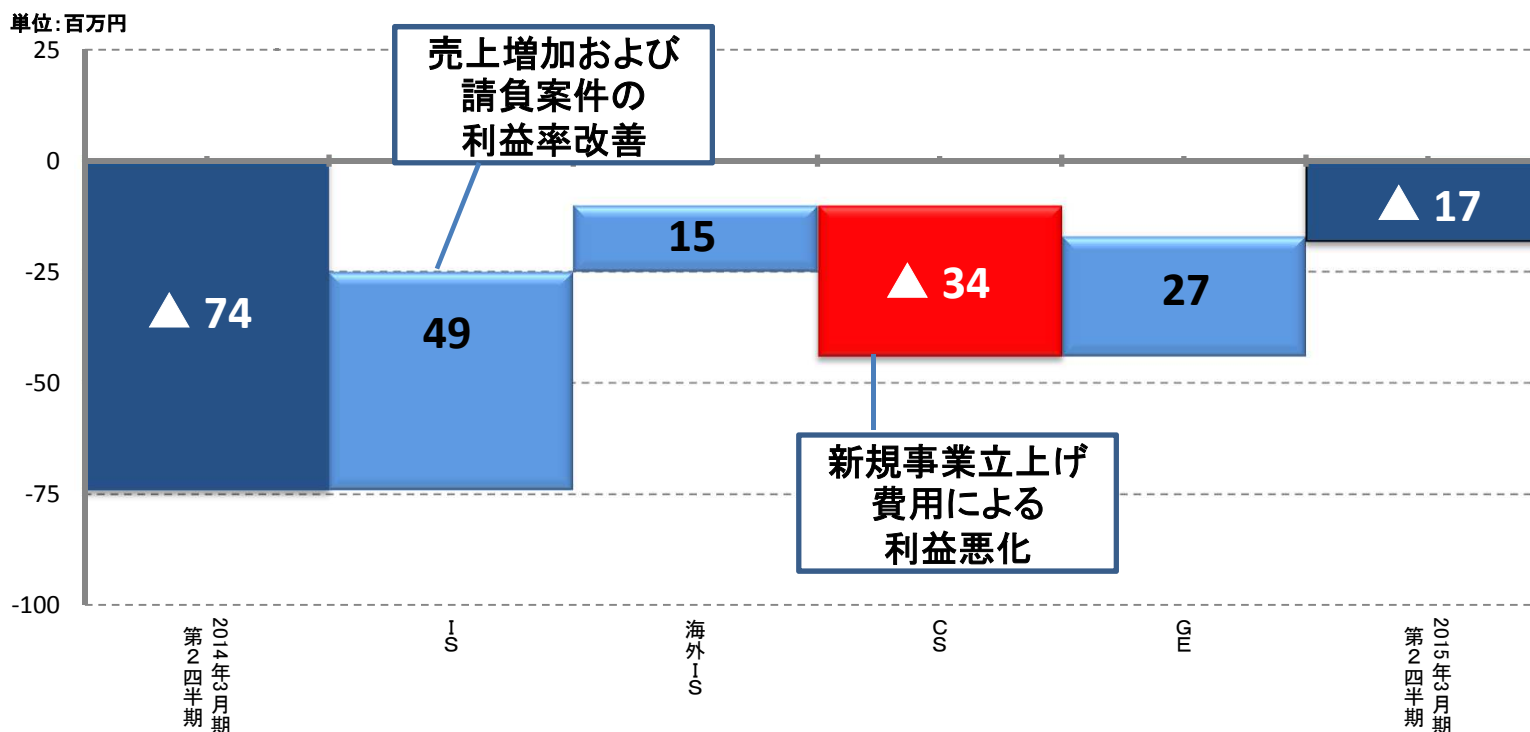


売上高 単位(百万円)	IS	海外IS	CS	GE	HS合計
2015年3月期 第2四半期	5,431	264	586	328	6,608
2014年3月期 第2四半期	4,701	119	778	263	5,860
増減	730	145	▲ 192	65	748



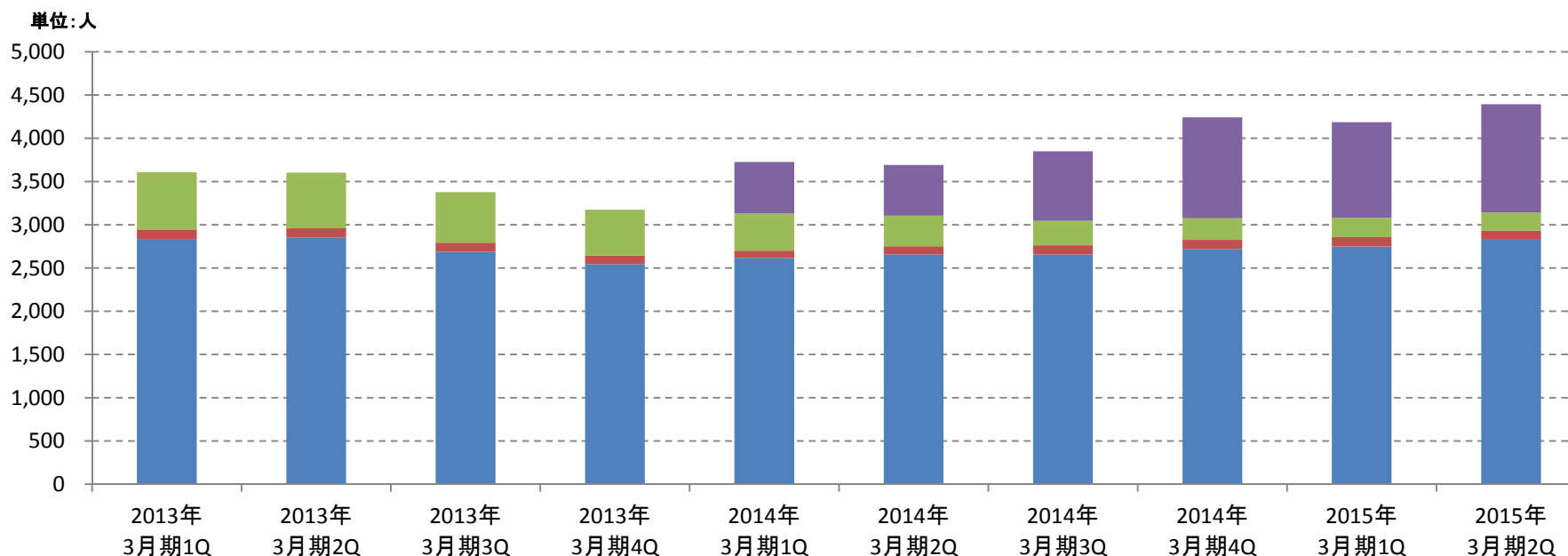
# HS事業概況 営業利益前年同期比較

IS事業の利益改善が寄与するも  
CSの利益悪化が全体に影響



営業利益 単位(百万円)	IS	海外IS	CS	GE	HS合計
2015年3月期 第2四半期	28	▲ 18	▲ 42	15	▲ 17
2014年3月期 第2四半期	▲ 21	▲ 33	▲ 8	▲ 12	▲ 74
増減	49	15	▲ 34	27	57

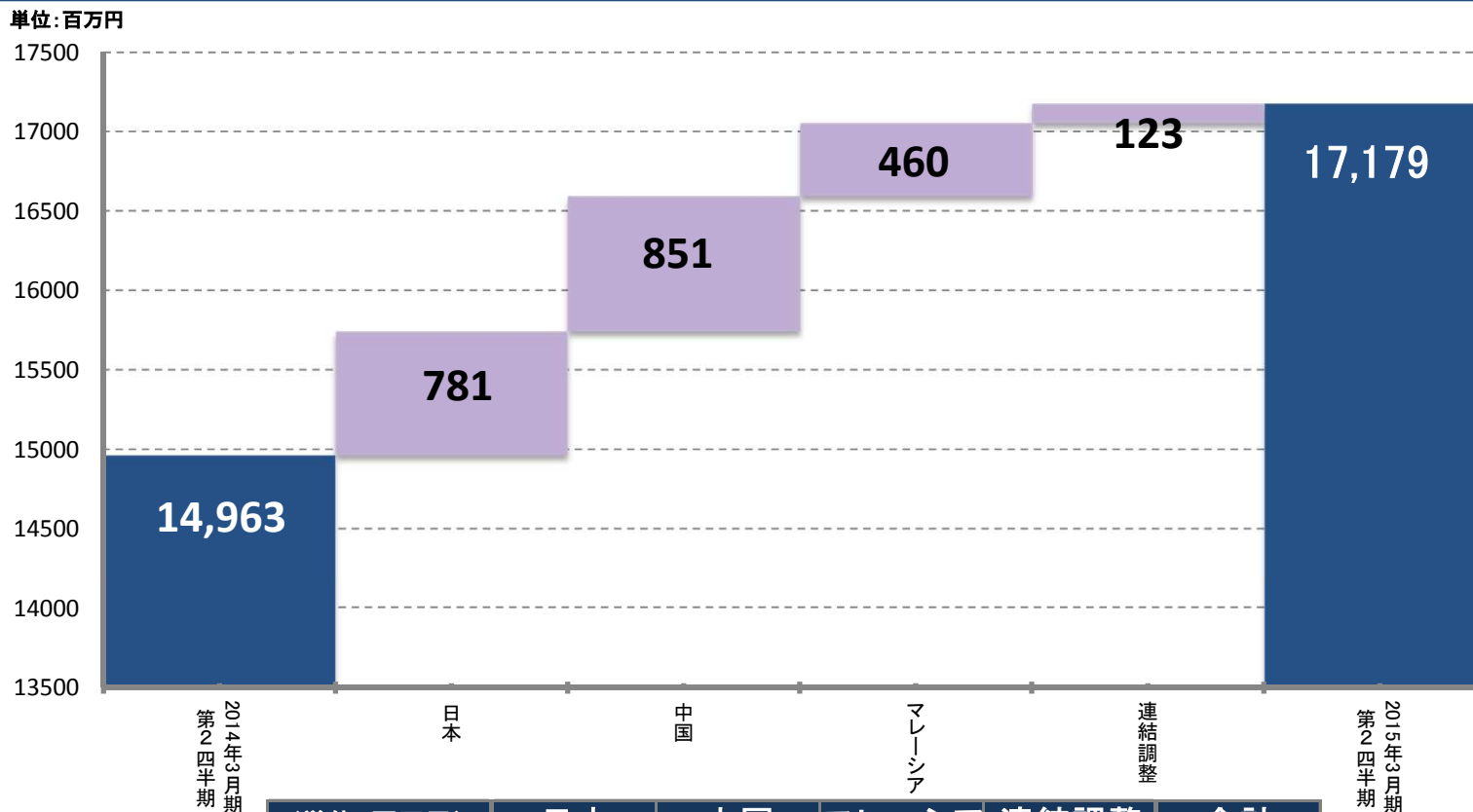
## 海外IS(中国派遣事業)在籍数は増加傾向



(単位:人)	2013年 3月期1Q	2013年 3月期2Q	2013年 3月期3Q	2013年 3月期4Q	2014年 3月期1Q	2014年 3月期2Q	2014年 3月期3Q	2014年 3月期4Q	2015年 3月期1Q	2015年 3月期2Q
IS	2,835	2,853	2,688	2,543	2,616	2,658	2,657	2,719	2,748	2,827
GE	110	107	105	101	84	94	106	107	109	105
CS	661	643	584	530	431	353	282	249	225	209
海外IS	-	-	-	-	596	586	805	1,168	1,104	1,253
合計	3,606	3,603	3,377	3,174	3,727	3,691	3,850	4,243	4,186	4,394

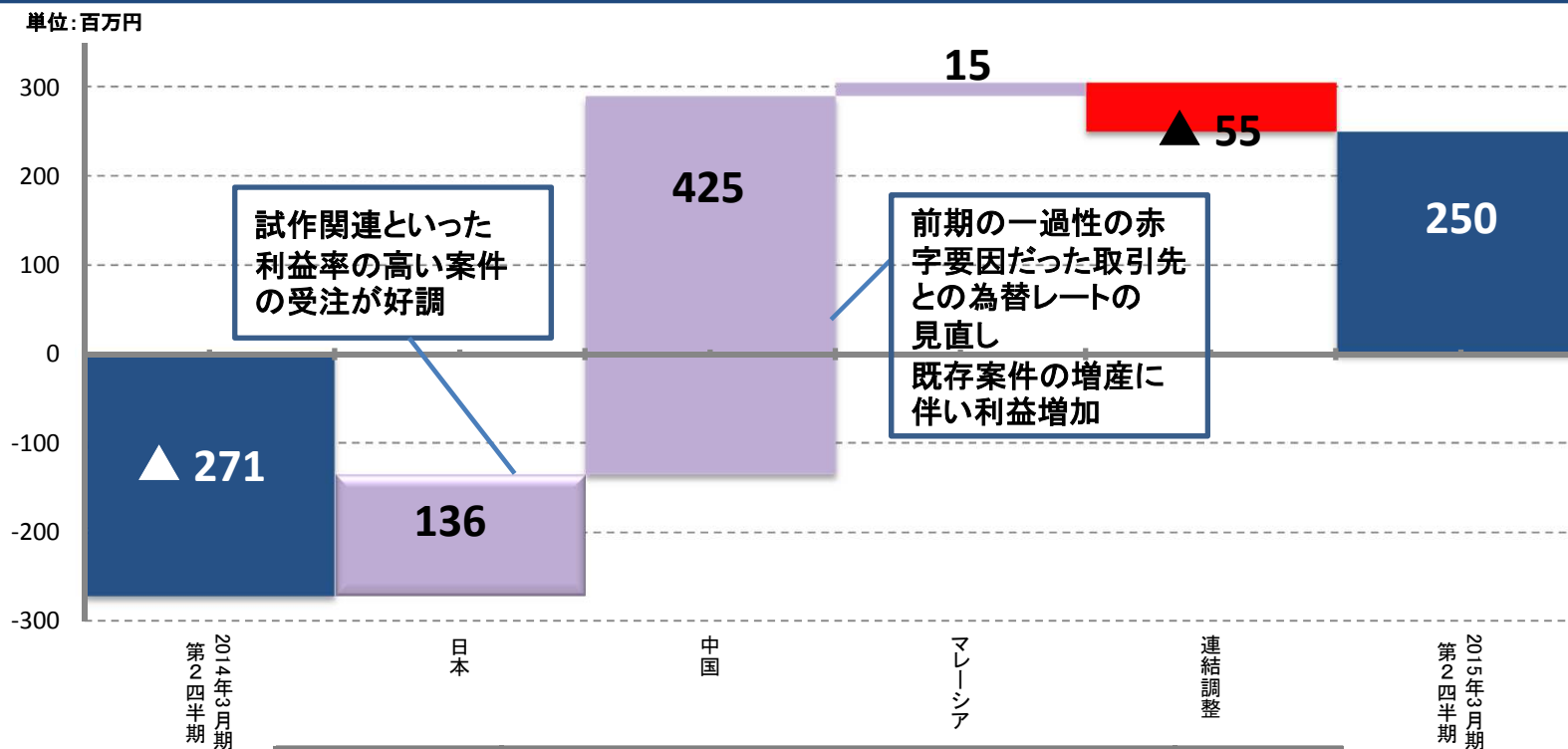
\* 海外IS(中国派遣事業)は12月決算のため、上記では、3か月前の数値を反映しております  
 (例:2015年3月期2Qの数値は2014年6月末時点の在籍数を記載しています)

## 日本、中国、マレーシア 既存案件の増産により対前年同期比+15%増



(単位:百万円)	日本	中国	マレーシア	連結調整	合計
2015年3月期 第2四半期	4,942	7,579	6,058	▲ 1,400	17,179
2014年3月期 第2四半期	4,161	6,728	5,598	▲ 1,523	14,963
増減	781	851	460	123	2,216

## 日本の赤字幅の縮小および 中国拠点の黒字化



(単位:百万円)	日本	中国	マレーシア	連結調整	合計
2015年3月期 第2四半期	▲ 50	108	197	▲ 5	250
2014年3月期 第2四半期	▲ 186	▲ 317	182	50	▲ 271
増減	136	425	15	▲ 55	521

# 2015年3月期 第2四半期 業績ハイライト (B/S)

項目/決算別 (単位:百万円)	2014年3月期	2015年3月期			
	(14/3末)	(第2四半期末)	増減	前期末比	
資産合計	19,462	21,158	1,696	+8.7%	<b>流動資産 前期末比+1,814百万円</b> 現金及び預金+1,058百万円 受取手形及び売掛金 +845百万円 商品及び製品▲107百万円
流動資産	13,709	15,523	1,814	+13.2%	
固定資産	5,754	5,634	▲ 120	▲ 2.1%	
負債	14,078	16,415	2,337	+16.6%	<b>固定資産 前期末比▲120百万円</b> 有形固定資産 ▲97百万円
流動負債	11,994	13,977	1,983	+16.5%	
固定負債	2,084	2,438	354	+17.0%	<b>流動負債 前期末比+1,983百万円</b> 短期借入金+1,921百万円
純資産	5,384	4,742	▲ 642	▲ 11.9%	
資本金	501	501	0	+0.0%	<b>固定負債 前期末比+354百万円</b> 長期借入金 +380百万円
資本剰余金	231	231	0	+0.0%	
利益剰余金	3,579	3,631	52	+1.5%	<b>純資産 前期末比▲642百万円</b> 自己株式 ▲599百万円
その他	1,073	379	▲ 694	▲ 64.7%	
負債・純資産合計	19,462	21,158	1,696	+8.7%	

# 2015年3月期 第2四半期 業績ハイライト (C/F)

## <C/F>

項目/決算別 (単位:百万円)	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 318	▲ 366	▲ 48
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 195	▲ 216	▲ 21
財務活動によるキャッシュ・フロー	281	1,696	1,415
現金及び現金同等物に係る 換算差額	136	▲ 28	▲ 164
現金及び現金同等物の 増減額	▲ 96	1,086	1,182
現金及び現金同等物の 期首残高	3,527	3,088	▲ 439
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加 額	141	-	141
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,572	4,174	602

## <主な指標>

項目/決算期	2014年3月期第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減
1株あたり四半期純利益(円)	▲ 19.27	8.50	27.77
自己資本比率(%)	19.0	18.9	▲ 0.10

\*1株あたり当期純利益(円)は、2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の株式分割を実施したため、2014年3月期第2四半期の1株あたり四半期純利益(円)は、100分割後換算で表記しております



## 2015年3月期 通期業績予想

# 2015年3月期 通期連結業績予想

## 営業利益が大幅に改善 前期比+11億円

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				2015年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	20,823	23,787	2,964	+14.2%	21,082	25,013	3,931	+18.6%	41,905	48,800	6,895	+16.5%
売上総利益	1,776	2,628	852	+48.0%	1,906	2,982	1,076	+56.5%	3,682	5,610	1,928	+52.4%
(売上総利益率)	8.5%	11.0%	2.5%	-	9.0%	11.9%	2.9%	-	8.8%	11.5%	2.7%	-
販売管理費	2,121	2,391	270	+12.7%	2,205	2,729	524	+23.8%	4,326	5,120	794	+18.4%
(販売管理费率)	10.2%	10.1%	▲0.1%	-	10.5%	10.9%	0.5%	-	10.3%	10.5%	0.2%	-
営業利益	▲346	237	583	-	▲298	253	551	-	▲644	490	1,134	-
(営業利益率)	-	1.0%	-	-	-	1.0%	-	-	-	1.0%	-	-
経常利益	▲68	147	215	-	▲107	363	470	-	▲175	510	685	-
(経常利益率)	-	0.6%	-	-	-	1.5%	-	-	-	1.0%	-	-
当期純利益	▲197	83	280	-	846	237	▲609	▲72.0%	649	320	▲329	▲50.7%
(当期純利益率)	-	0.3%	-	-	4.0%	0.9%	▲3.1%	-	1.5%	0.7%	▲0.9%	-
配当予想(円)	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	0	-

2014年3月期はTKR株式追加取得による負ののれん発生益(約11億円)等が含まれております



# 2015年3月期 事業別通期業績予想

## 国内IS事業 インラインソリューション事業 売上高 17.5%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,701	5,431	730	+15.5%	5,076	6,059	983	+19.4%	9,777	11,490	1,713	+17.5%
(構成比)	22.6%	22.8%	0.3%	-	24.1%	24.2%	0.1%	-	23.3%	23.5%	0.2%	-
セグメント利益	▲ 21	28	49	-	107	62	▲ 45	-	86	90	4	-
(利益率)	-	0.5%	-	-	2.1%	1.0%	▲1.1%	-	0.9%	0.8%	▲0.1%	-
現場社員数(人)	2,658	2,827	169	+6.4%	2,719	3,627	908	+33.4%	2,719	3,627	908	+33.4%

## 海外IS事業 中国 売上高 227.3%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	119	264	145	+121.8%	211	816	605	+286.7%	330	1,080	750	+227.3%
(構成比)	0.6%	1.1%	0.5%	-	1.0%	3.3%	2.3%	-	0.8%	2.2%	1.4%	-
セグメント利益	▲ 33	▲ 18	15	-	▲ 25	18	43	-	▲ 58	0	58	-
(利益率)	-	-	-	-	-	2.2%	-	-	-	-	-	-

# 2015年3月期 事業別通期業績予想

## CS事業 カスタマーサービス事業 売上高 7.5%減

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	778	586	▲ 192	▲24.7%	611	699	88	+14.4%	1,389	1,285	▲ 104	▲7.5%
(構成比)	3.7%	2.5%	▲1.3%	-	2.9%	2.8%	▲0.1%	-	3.3%	2.6%	▲0.7%	-
セグメント利益	▲ 8	▲ 42	▲ 34	-	▲ 40	77	117	-	▲ 48	35	83	▲172.9%
(利益率)	-	-	-	-	-	11.0%	-	-	-	2.7%	-	-
現場社員数(人)	353	209	▲ 144	▲40.8%	249	159	▲ 90	▲36.1%	249	159	▲ 90	▲36.1%

## GE事業 グローバルエンジニアリング事業 売上高 +16.3%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	263	328	65	+24.7%	309	337	28	+9.1%	572	665	93	+16.3%
(構成比)	1.3%	1.4%	0.1%	-	1.5%	1.3%	▲0.1%	-	1.4%	1.4%	0.0%	-
セグメント利益	▲ 12	15	27	-	5	10	5	-	▲ 7	25	32	-
(利益率)	-	4.6%	-	-	1.6%	-	-	-	-	3.8%	-	-
現場社員数(人)	94	105	11	+11.7%	107	132	25	+23.4%	107	132	25	+23.4%

# 2015年3月期 事業別通期業績予想

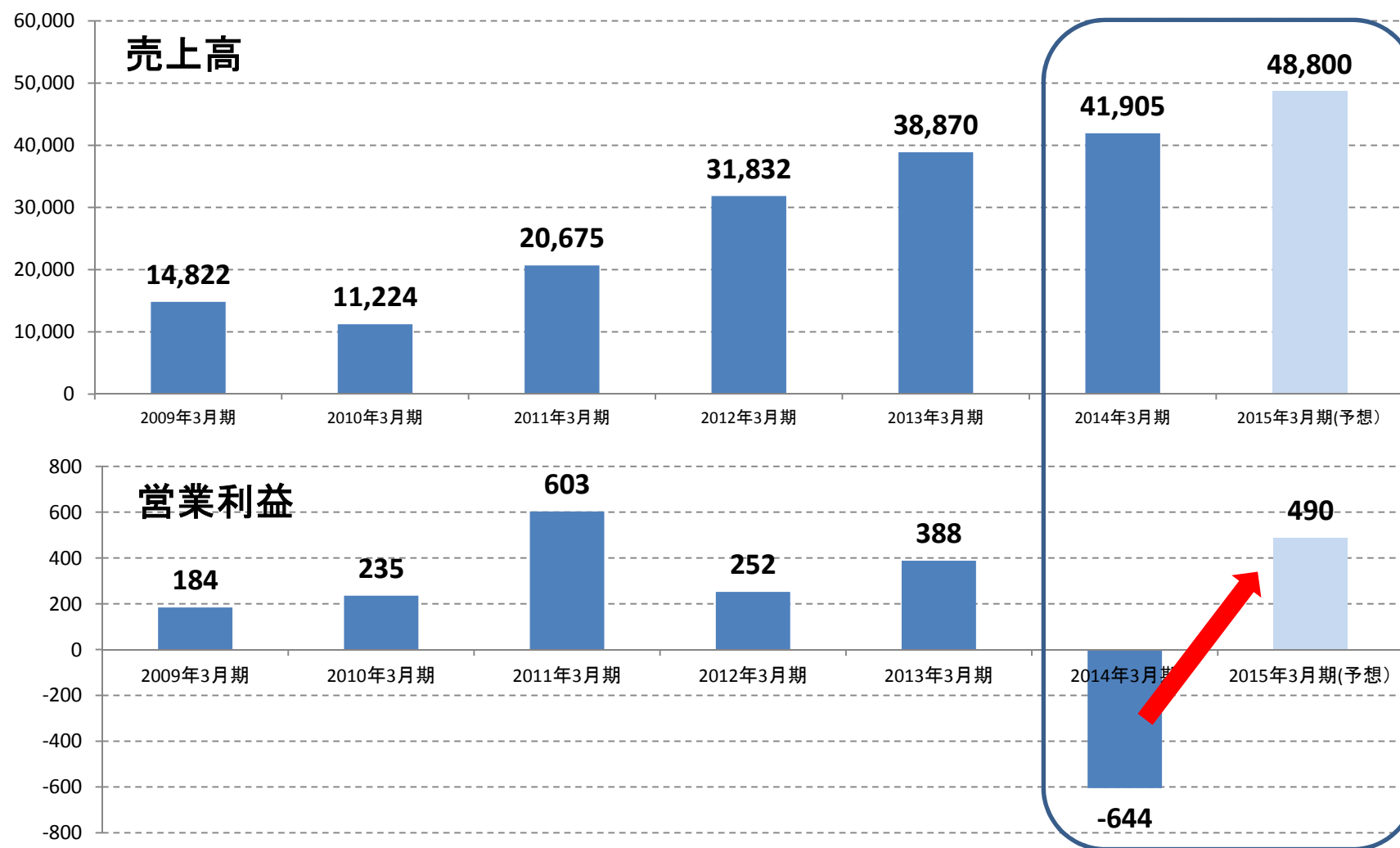
## EMS事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業

売上高+14.9%増

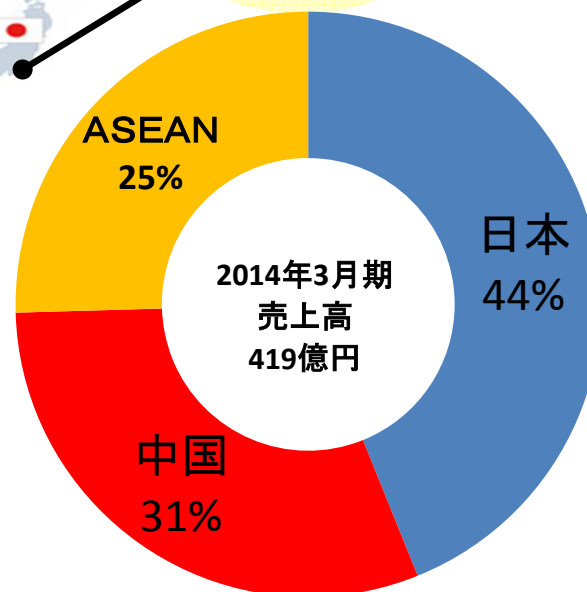
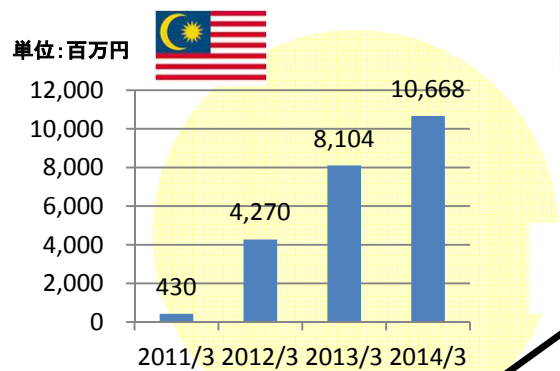
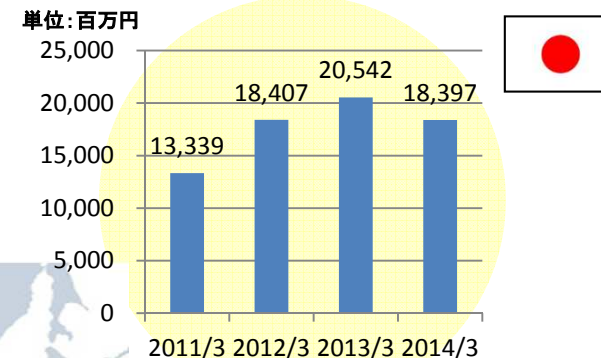
項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	14,963	17,179	2,216	+14.8%	14,875	17,101	2,226	+15.0%	29,838	34,280	4,442	+14.9%
(構成比)	71.9%	72.2%	0.4%	-	70.6%	68.4%	▲2.2%	-	71.2%	70.2%	▲1.0%	-
セグメント利益	▲272	250	522	-	▲349	90	439	-	▲621	340	961	-
(利益率)	-	1.5%	-	-	-	0.5%	-	-	-	1.0%	-	-



## 2015年3月期予想で利益が大幅に改善



## 海外売上高は全体の50%超 (2014年3月期実績)





## 今後の取組みについて

1

パワーサプライテクノロジー(株)の発足  
利益を生み出す事業の構築

2

中国をはじめとする  
海外人材ビジネスの基盤構築

3

日本通運との業務提携による  
サービス領域拡大と営業組織強化

1

**パワーサプライテクノロジー(株)の発足  
利益を生み出す事業の構築**



# 10月1日にパナソニックから一般電源事業譲受

## 10月1日にパナソニックから一般電源事業を譲受 パワーサプライテクノロジー(株)松阪本社で発足式を開催

### パワーサプライ事業拠点(日本 / 中国 / 香港)

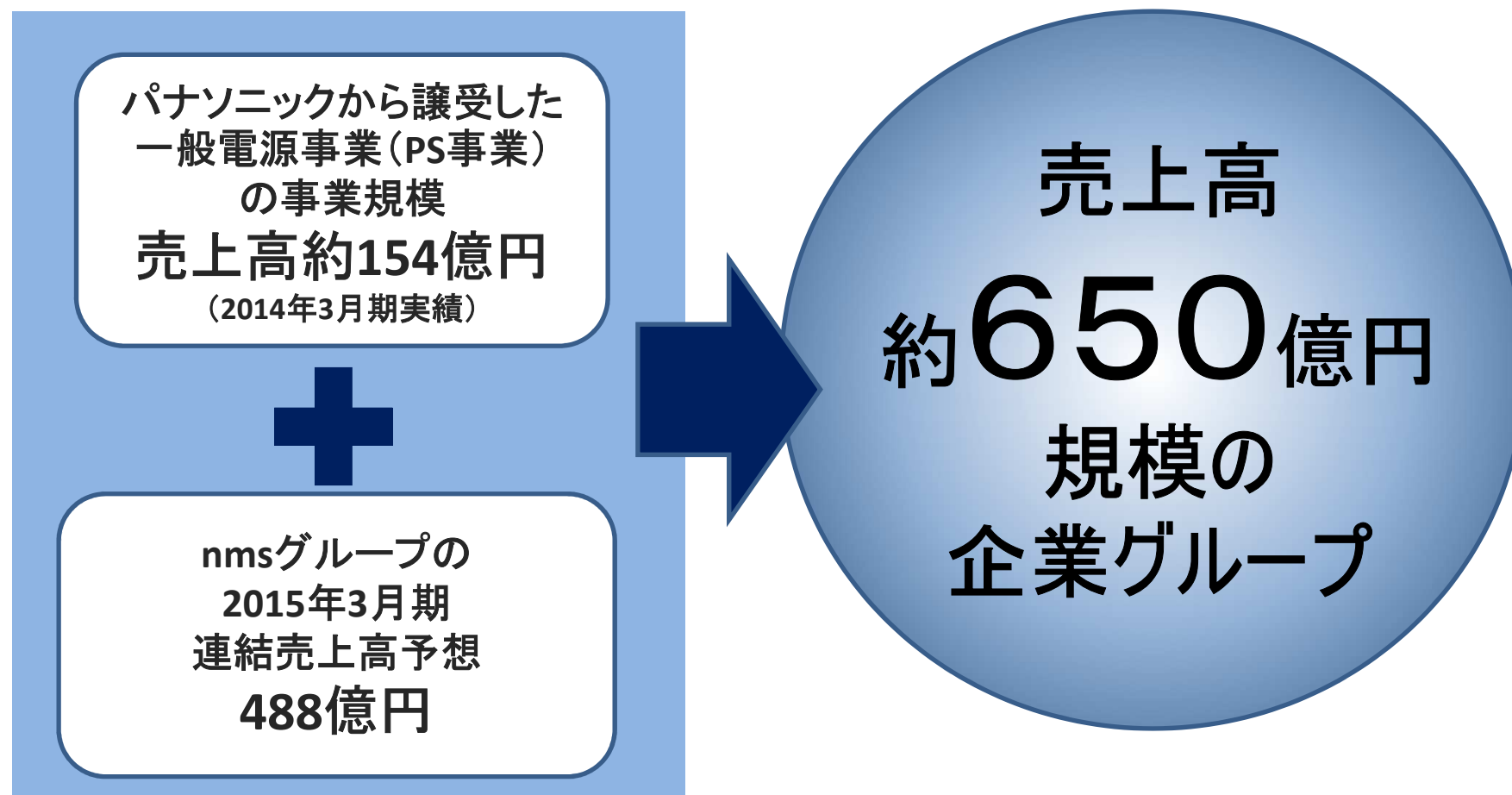
- パワーサプライテクノロジー株式会社 東京本社
- パワーサプライテクノロジー株式会社 松阪本社
- 中宝華南電子(佛山)有限公司
- 中宝華南電子(佛山)有限公司 蘇州分公司
- 中宝華南電子(佛山)有限公司 深圳分公司
- Power Supply Technology CO.,LTD. HONG KONG Branch



キーテクノロジー	既存技術 (TKRと経営統合後の nmsグループ)	2013年10月 日立MEから 一部事業譲受後の nmsグループ	パナソニックから 一般電源事業 譲受後の nmsグループ	技術が組み込まれる 製品群(例)
車載関連技術	○	○	○	カーオーディオ
映像ボード技術	—	→ ○	○	各種モニター、カーナビ、 プロジェクター
チューナー技術	—	→ ○	○	ワンセグ・フルセグ受信機、 地デジ変換機
高圧電源技術	—	→ ○	◎	複写機・医療機器
高圧トランス技術	—	→ ○	◎	空気清浄機、ドライヤー、 電子レンジ
低圧電源技術	○	○	◎	エアコン本体 エアコン室外機
LED照明用 電源技術	—	→ ○	◎	LED照明
マグネットロール	—	→ ○	○	複写機等

## グループ全体売上高 約650億円の事業規模に

\* 単純合算したイメージ



技術分野



- 国内No.1の高圧電源シェアを誇る技術力
- 高圧トランス エポキシ樹脂技術
- LED調光技術 等



- 高圧トランスシリコン樹脂技術、低圧帯であるイオン発生技術
- LED防塵防水に対する高度な技術力



パナソニックの持つ技術力と日立メディアエレクトロニクスから譲受した技術力を融合し新製品開発

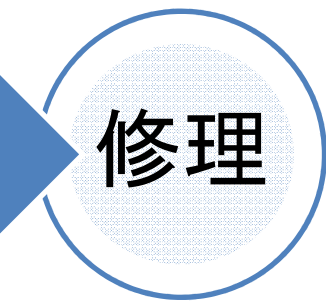
製品・サービス



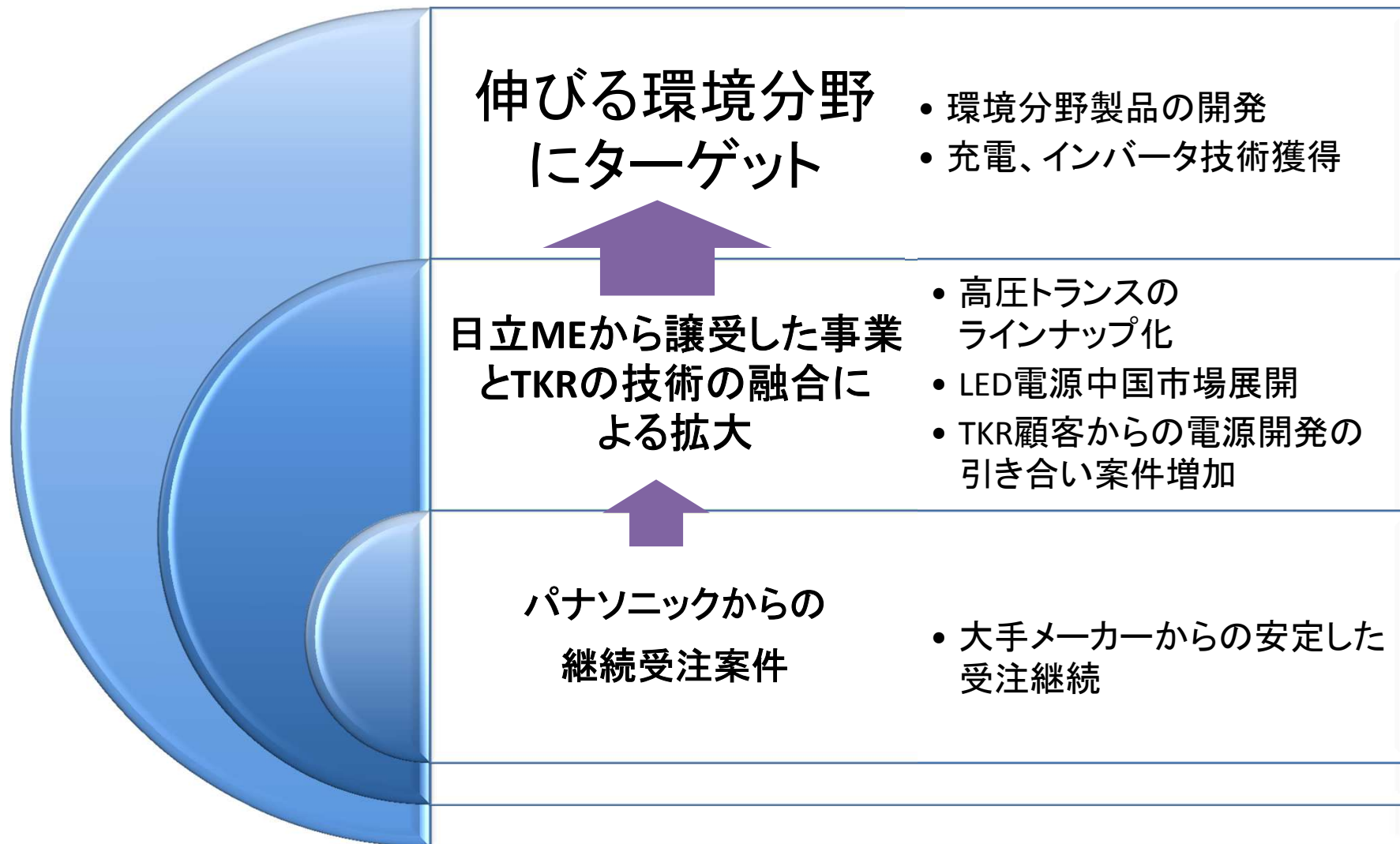
自社開発の電源、モジュール品の提供



EMSの提供



修理サービスの提供



パナソニックから引き継ぐ取引先数 国内外で約200

海外取引先

111

国内取引先

90

国内外においてnmsグループの各種サービスを提案

製造派遣・請負

エンジニア派遣

EMS

海外事業支援

修理カスタマーサービス

2

## 中国をはじめとする 海外人材ビジネスの基盤構築

# 中国 承攬(製造請負)プロジェクト進捗状況

\* 承攬=ショウラン

2014年3月1日施行

**「労務派遣暫定規定」**派遣労働者の数は派遣先使用者が**使用する労働者人数の10%を超えてはならない**

\* 2年間の移行期間があるが現時点で10%を超えている場合、新規で労務派遣社員の採用は出来ない。移行期間であっても10%以下にする具体的な策を講じる必要がある。

2014年5月

**nmsと当社中国子会社中基衆合は、中国労務派遣専門委員会が発足した中国労務派遣事業における承攬(製造請負)研究プロジェクトに参画**

2014年6月7日

中国労務派遣専門委員会が無錫市で**「労務派遣および承攬(製造請負)プロジェクトセミナー」を開催**  
(50社100名参加)

2014年9月下旬

労務派遣専門委員会プロジェクトメンバーが来日し**nmsの請負現場を視察**

2014年10月21日

上海で**人力資源社会保障部(日本で言う、厚生労働省)主催「労務派遣暫定規定」に関して日系企業に対して説明会を開催**  
日系企業及び管轄行政区人社局へ承攬研究の重要性を説明、双方より意見交換を実施

2014年12月末～  
2015年春頃迄

**承攬\*(製造請負)研究プロジェクト 請負ガイドライン 12月末  
請負ガイドライン法制化への草案 2015年 3月**

2016年3月 承攬(製造請負)法制化へ向け  
全人代に提出



# 日系企業で承攬(製造請負)の認知度が向上 ～中国でnmsの請負の拡大が見込まれる～

日系企業に承攬が徐々に認知される





## China + 1のASEANニーズに応える タイで製造派遣事業を開始 ベトナムでは提携先が派遣事業を開始



タイ

設立会社: nms(Thailand) Co.,Ltd.

設立日: 2014年9月12日

事業内容: タイ人、カンボジア人材派遣



ベトナム

設立会社: NMS International Vietnam Company Limited

設立日: 2010年8月1日

事業内容: 構内製造請負事業および製造受託事業

パートナー会社: NMS International Resources Vietnam Company Limited

設立日: 2012年12月4日

事業内容: 人材派遣業、各種コンサルティング事業等



マレーシア  
EMS工場3拠点

3

## 日本通運との業務提携による サービス領域拡大と営業組織強化

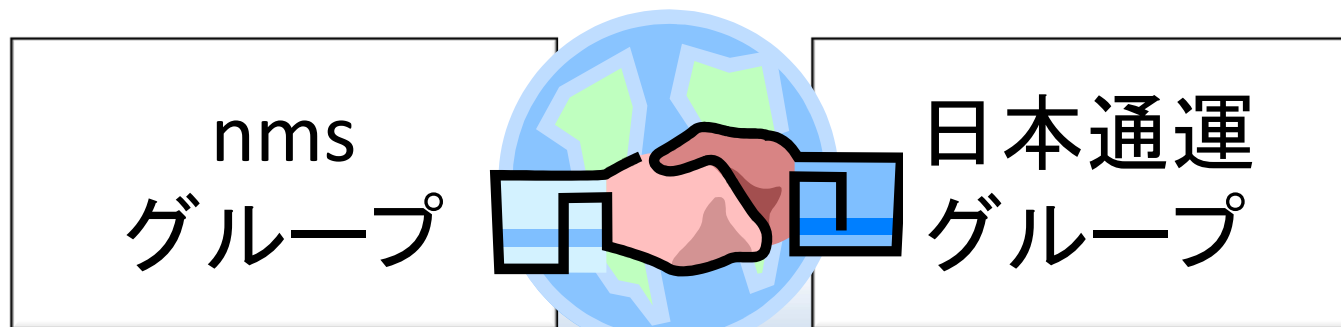
日本通運のサービスとグローバルネットワークを活用し  
物流分野のサービスを拡充、事業規模を拡大

- 1 物流分野のサービスを拡充
- 2 製造と物流をワンパッケージにした新サービスの提供
- 3 日通の国内約360拠点、海外40か国481拠点の国内外ネットワークの活用\*



\* 日通のネットワーク国内拠点数は2014年10月1日現在、海外拠点は2014年9月30日現在

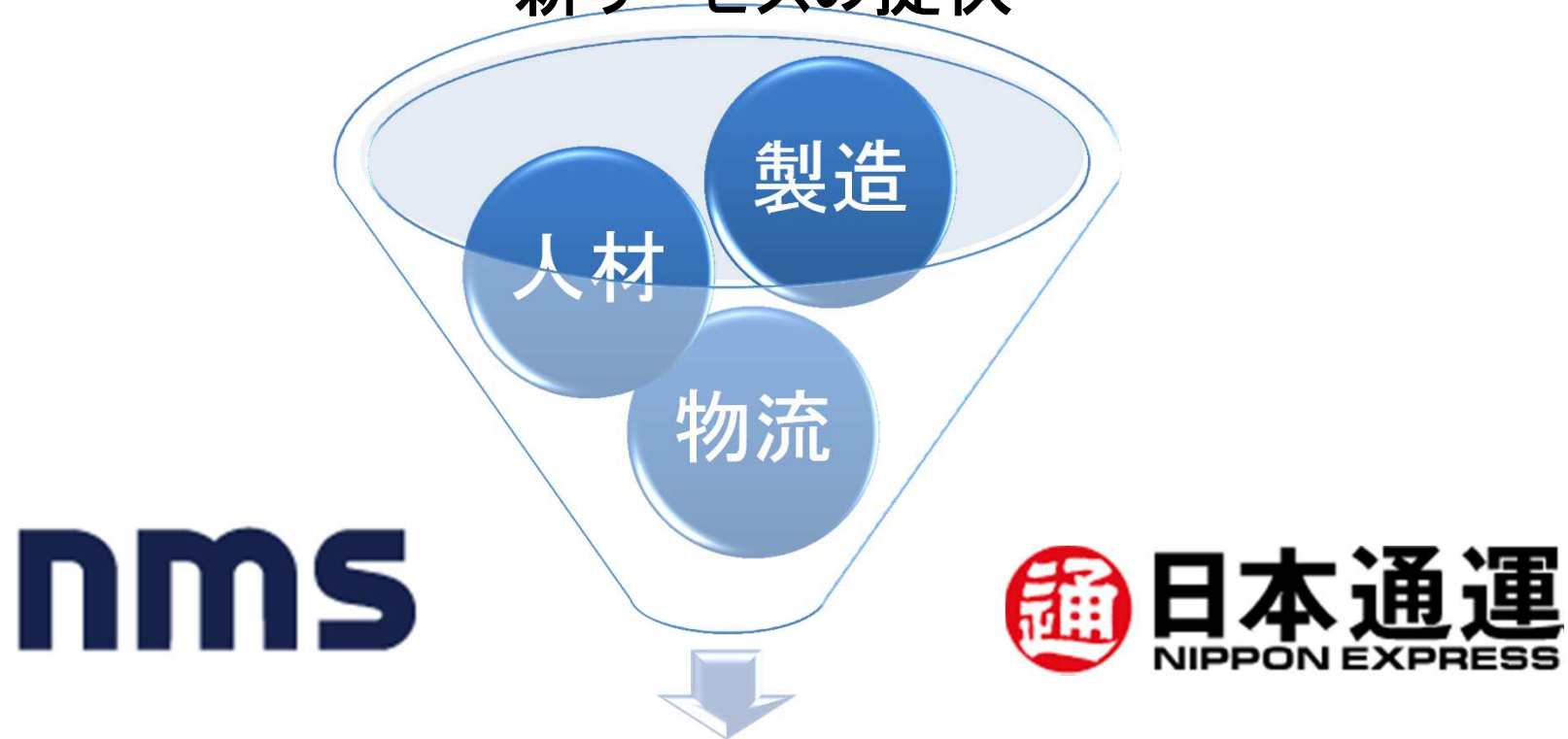
大手ロジスティクスの営業体制を活用し  
**顧客範囲が拡大＝営業機会の拡大**



- 顧客情報の共有化
- 共同営業の実施 等

製造業をターゲットに、nmsグループと日通グループで  
国内外営業体制を整え  
製造と物流のサービスをワンパッケージにして販売

## 製造業向け製造と物流をワンパッケージにした 新サービスの提供



2019年度に売上高300億円を目指す

\* 製造と物流両方の売上が含まれております

## 電気機器メーカーA社様

生産計画

部材準備

組立・検査

出荷

部材リスト

入荷リスト

製造・検査に関する  
指示等

出荷リスト

倉庫管理



発送

・出荷処理

・組立  
・検査  
・梱包

・設備管理

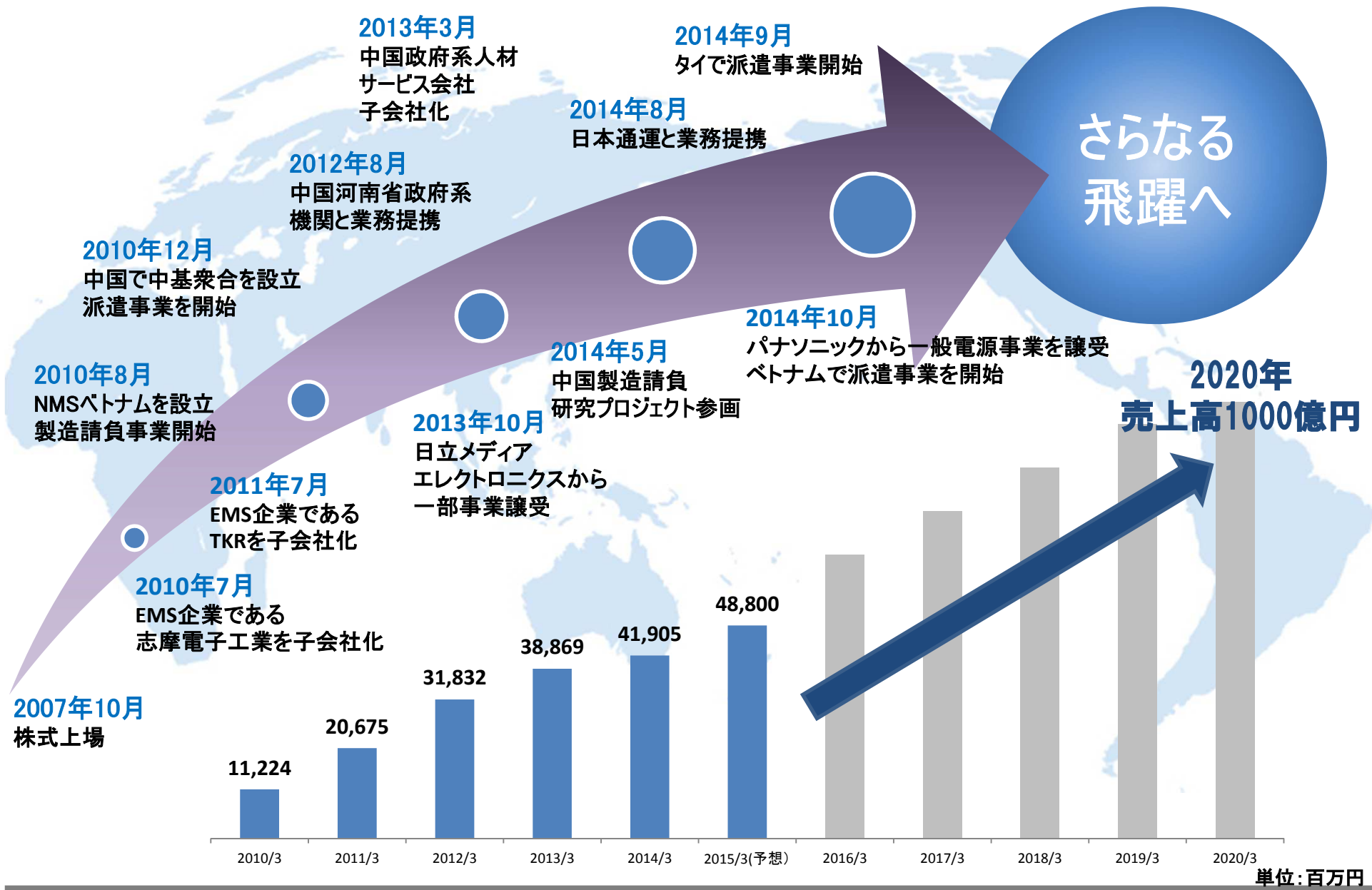
・抜取検査

・荷受  
・検収  
・入庫

nmsと日本通運の製造と物流を繋ぐワンストップサービス

## nmsグループの中長期戦略

# nmsグループのこれまでの施策と中長期目標



2007年10月  
株式上場

2010年7月  
EMS企業である  
志摩電子工業を子会社化

2011年7月  
EMS企業である  
TKRを子会社化

2010年8月  
NMSベトナムを設立  
製造請負事業開始

2010年12月  
中国で中基衆合を設立  
派遣事業を開始

2012年8月  
中国河南省政府系  
機関と業務提携

2013年3月  
中国政府系人材  
サービス会社  
子会社化

2013年10月  
日立メディア  
エレクトロニクスから  
一部事業譲受

2014年5月  
中国製造請負  
研究プロジェクト参画

2014年8月  
日本通運と業務提携

2014年9月  
タイで派遣事業開始

2014年10月  
パナソニックから一般電源事業を譲受  
ベトナムで派遣事業を開始



# 製造アウトソーシングの、 新たな世界基準を。

お客様の多種多様なニーズに合わせて、  
海外事業を支援します。



## <参考資料>



あなたの求めるソリューションが、ここから生まれる。

## 会社概要

---

# 会社概要

会社名	日本マニュファクチャリングサービス株式会社 (nms)
設立	1985年9月18日
代表者	代表取締役社長 小野文明
上場証券取引所	東証ジャスダック (証券コード: 2162 上場日: 2007年10月25日)
資本金	5億69万円
決算期	3月
売上高	売上高 419億円 (2014年3月期連結)
従業員数	連結 約7,200名 (2014年10月1日時点)
事業内容	製造派遣、請負、製造受託事業、修理事業 技術者派遣事業、パワーサプライ事業(電源分野における設計開発・製造・販売)
株主構成	小野文明1,798,000 株 (16.63%) 塩澤一光1,426,500 株 (13.20%) 株式会社SBI証券322,900 株 (2.98%) 野村證券株式会社 野村ネット&コール289,100 株 (2.67%) 長谷川京司234,000 株 (2.16%) (2014年9月末時点)
連結子会社	北京日華材創国際技術服务有限公司 北京中基衆合国際技術服务有限公司 株式会社志摩電子工業、株式会社テーケアール パワーサプライテクノロジー株式会社

## 会社設立

メーカーのパートナーとして  
人材ビジネスでは珍しく自社工場を  
保有しモノづくりを支える  
人材ビジネスとして事業を開始

## 中国事業開始

### 日本人技術者派遣事業開始

お客様の技術者派遣ニーズに応えるべく、  
設計開発分野へ参入。  
まずは日本国内での  
中国人技術者派遣を開始  
その後日本人技術者派遣事業も開始

## ジャスダックに上場

## EMS事業、 海外人材ビジネス開始

志摩電子工業を子会社化、  
ベトナムで製造請負事業許認可を取得  
中国で労務派遣許認可を取得

1985年9月	製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立(資本金:4,000千円)
1999年 10月	テクノブレン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受
2000年9月	商号を日本マニファクチャリングサービス株式会社に変更
2003年4月	中国北京市に北京オフィスを開設
2004年7月	北京日華材創国際技術服务有限公司を設立
2004年 10月	NMSホールディング株式会社が当社の株式取得(資本金:360,000千円)
2005年4月	日本人技術者派遣事業を開始
2007年 10月	JASDAQ証券取引所へ上場(現 東京証券取引所 JASDAQ市場) 証券コード:2162
2008年7月	ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設
2010年7月	株式会社志摩電子工業を子会社化
2010年8月	日本マニファクチャリングインターナショナルベトナム有限公司(外資初の構内製造請負事業許認可を取得)を設立
2010年 12月	北京中基衆合国際技術服务有限公司(外資初の中国国内労務派遣営業許認可を取得)を設立

## EMS事業 海外人材ビジネスを強化

製造業の皆様の  
強力なパートナーとなるべく  
モノづくり力を高めるため、  
志摩電子工業の次に  
TKRと経営統合  
海外拠点も増え、2013年3月期では海  
外売上高比率は47.2%に

## メーカーの技術力で さらなる飛躍へ

日立メディアエレクトロニクス  
の一部事業を譲受  
パナソニックの  
一般電源事業を譲受

2011年7月	株式会社テーケアールを子会社化
2011年9月	北京中基衆合国際技術服务有限公司 無錫分公司を設立
2012年1月	北京中基衆合国際技術服务有限公司 深圳分公司を設立
2012年8月	北京中基衆合国際技術服务有限公司が中国河南省政府系機関と採用業務において業務提携
2013年3月	北京中基衆合国際技術服务有限公司が政府系人材サービス会社である 無錫市濱湖人力資源服务有限公司を子会社化
2013年 10月	株式会社テーケアールが株式会社日立メディアエレクトロニクスの事業の一部(電源事業、トランス事業、チューナー事業、映像ボード事業)を譲受
2014年5月	中国労務派遣専門委員会 製造請負(承攬)研究プロジェクトに参画
2014年8月	日本通運株式会社と業務提携
2014年9月	タイにnms(Thailand)Co.,Ltd.を設立 派遣事業を開始
2014年 10月	パワーサプライテクノロジー株式会社がパナソニックの一般電源事業を譲受

## 製造業の開発・設計～製造～修理まで ワンストップでモノづくりと人材サービスを提供

モノづくりと人づくりを兼ね備えた  
サービスの提供ができるのは  
当社グループのみ！

### 「モノづくり」

・・・開発・設計から組立、修理まで

### 「ひとづくり」

・・・メーカー各社で習熟度をたかめることで  
付加価値の高い人材の育成が可能





# 国内ネットワーク

- **本社** : 初台本社
- **支店** : 岩手支店、仙台支店、山形支店、福島支店、群馬支店、茨城支店、横浜支店  
: 名古屋支店、大阪支店、九州支店
- **テック** : 岩手テック、埼玉サービススペース、広島事業所
- **オフィス** : 蒲田オフィス、岩手北オフィス、山形南オフィス、千葉オイス  
: 神奈川西オフィス、広島オフィス、札幌オフィス
- **工場** : 岩手県3、茨城県2、三重県2





## 中国・ASEANで20拠点展開（生産拠点は6拠点）



# 財務・業績情報 (単位:百万円)

連結 単位:百万円	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
売上高	11,224	20,675	31,832	38,869	41,905
営業利益	234	602	251	387	-643
経常利益	230	584	266	564	-175
純利益	230	907	1,356	235	648
1株当たり利益	11,497.36	45,595.87	13,552.23	2,303.42	*63.43
1株当たり配当金(円)	500	2,000	400	300	*3

\* 2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の株式分割を実施しています

			セグメント別売上高推移(単位:百万円)				
セグメント 名称	セグメント 読み	サービス内容	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
IS事業	インライン ソリューション事業	国内における製造請負、派遣 サービス	7,936	8,516	9,352	9,538	9,776
海外 IS事業	海外インライン ソリューション事業	中国、ベトナムにおける人材 サービス	-	-	-	-	329
CS事業	カスタマーサービス 事業	国内における電気機器等修理 サービス	2,526	3,173	2,903	2,386	1,389
GE事業	グローバル エンジニアリング事業	日本人・中国人・ベトナム人技 術者派遣サービス	762	689	627	611	571
EMS事業	エレクトロニクス マニファクチャリングサー ビス事業	日本、中国、マレーシアにおけ るEMS	-	8,297	18,949	26,333	29,838
		売上高合計	11,224	20,675	31,832	38,868	41,905

# 財務・業績情報 (単位:百万円)

総資産/純資産/ 自己資本比率	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
総資産	3,117	7,362	18,709	19,061	19,462
純資産	1,295	2,169	5,839	6,523	5,384
自己資本比率(%)	41.3	29.2	17.9	19.7	23.7

キャッシュ・フロー	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	352	671	596	145	-464
投資活動による キャッシュ・フロー	-80	-196	667	-222	-1,347
財務活動による キャッシュ・フロー	-264	349	949	-382	1,020

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

#### 本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社

コーポレート本部 広報IRグループ

Tel:03-5333-1711

E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp